あすなろ　夏季号

がん以外の疾患に対する緩和ケアについて

副院長　東　謙一郎

当院は2008年4月に緩和ケア病棟を開設しました。厚生労働省の指針で「苦痛の緩和を必要とする悪性腫瘍の患者を入院させる病棟」と規定されており、現在もがん患者が対象です。そのため、日本では緩和ケアという言葉はがん患者に対するものというイメージが強いようです。しかし、WHO（世界保健機関）は2002年に、緩和ケアを「生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のQOL（生活の質）を向上させること」と定義しています。つまり、緩和ケアの対象はがんのみならず、生命の危機に直面したすべての患者・家族なのです。

日本の年間死亡者数は現在130万人程度で、がんによる死亡は30%弱、一方で循環器疾患（心不全など）・呼吸器疾患（肺炎・COPDなど）・神経疾患（パーキンソン病・認知症など）・腎不全・老衰による死亡は合計50%弱で、死因ではがん以外が多いのです。最近は日本でもがん以外の疾患に対する緩和ケアへの関心が高まっており、昨年度から心不全に対する緩和ケアに対して診療報酬が認められました。ある研究によると、人生の最終段階は①がんによるもの、②心臓・肺などの臓器不全によるもの、③認知症・老衰によるもの、の3つに分類できるそうです。がんは、最後の1-2ヶ月で急激に全身機能が低下しますが、心不全や呼吸不全・腎不全などの臓器不全は悪化と改善を繰り返しながら徐々に機能が低下し、認知症や老衰では主に嚥下障害や食欲不振が進行します。

当院の入院患者様は7割が80歳以上で、さらにその半数近くが90歳を超えています。がんのみならず上記の疾患をほぼ網羅しており、残念ながら病状改善が困難な方も多数おられます。緩和ケア病棟開設時にがんのケアに奔走していたスタッフの多くは今、療養病棟や介護医療院・訪問看護ステーションで多様な患者様のケアに当たっています。緩和ケア病棟開設から11年を過ぎ、緩和ケアの精神を学んだスタッフが様々な部署で経験を活かして活躍している事は当院の大きな特徴です。

昨年秋、厚生労働省が「人生会議」を提唱しました。「もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組み」の事です。もし生きることができる時間が限られているとしたら、あなたにとって一番大切なことは何でしょうか。当院は、スタッフ一同で患者様・家族様に寄り添い、共に悩みながら最善の医療・ケアができるよう努力を続けて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

診察室・健診室が新しくなりました!

診察室・健診室の工事が5月に完了し、新しくなりました。

診察室がA・B・Cの
3部屋になりました！

診察室の中も
新しくなりました！

健診室も
広くなりました！

～岡医師　退任挨拶～

平成30年4月1日より当院にて、腎臓内科医として勤務して下さいました岡　哲医師が令和元年5月31日付で退職されることとなりました。

平成30年4月に千住病院に赴任し、1年2ヶ月という短い期間でしたが、お世話になり、ありがとうございました。これまで赴任してきた病院では、急性期病院ということもあり、入院期間も短く、患者さんとの関わりは短期間でした。千住病院では療養病棟を持っていることや介護医療院併設していることもあり、患者さんと長い関わりを持つことができました。その中で療養が必要で自宅退院が困難な方が病院でどのような日常生活を送りたいと考えているのか、また残念ながらも病院で最期を迎えることになる方がどのような最期を望まれているのか、などといったこれまであまり経験してこなかった難しい問題に直面し、悩むことも多々ありましたが、患者ご本人、ご家族と何度も話し合い、また病院職員の多くの助けもあり、乗り越えることができました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。千住病院で得た経験を今後の診療で活かしていきたいと存じます。最後になりましたが、皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げ、退任の挨拶と致します。

岡　哲

～緒方医師　就任挨拶～

4月からお世話になっております、呼吸器内科の緒方良介です。長崎大学病院、諫早総合病院での研修を終え、昨年入局後1年間長崎大学病院に勤務しておりました。

出身は大分県で、佐世保に来るのはほぼ初めてです。じわじわと車で行動範囲を広げてはいますが、まだヤマダ電機辺りまでをうろうろしているため、面白い場所があればぜひ教えて下さい。

先生方、スタッフの皆様にはとても良くして頂き楽しく診療させて頂いております。経験不足でご迷惑をお掛けすることも多いかと存じますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

呼吸器内科医　緒方　良介

◆◇◆◇◆◇◆◇ 新入職員紹介 ◇◆◇◆◇◆◇◆

A病棟3階　看護師　**久保川　沙季**

今年の4月からA病棟3階で勤務させていただいております。出身は佐々町です。

地元近くに残り、地域に貢献する仕事を行っていくことが夢だったため、当院で看護師として働ける日々に喜びを感じています。これからもよろしくお願いします。

A病棟3階　看護師　**井手　紗莉菜**

A病棟3階に所属している井手紗莉菜です。慣れない業務で不安と緊張の毎日ですが、先輩方に優しくご指導して頂き少しでも早く覚えられるよう努力していきます。

至らない所も多々ありますが、ご指導宜しくお願い致します。

B病棟2階　看護師　**石田　智穂莉**

B病棟2階看護師の石田智穂莉です。長所は明るく元気な所で短所はマイペースな所です。

1年目で分からない事ばかりですが、一生懸命頑張っていきたいと思うのでよろしくお願いします。

A病棟3階　看護師　**森口　風音**

たくさんの先輩方に支えられ、3ヶ月たった今、やっと少しずつ仕事に慣れてきました。これからもっとたくさんのことを覚えていき、患者様を支えられるような看護師になれるよう、千住病院で成長していきたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

B病棟2階　看護師　**種岡　萌加**

今年度より、B病棟2階に配属となった種岡萌加です。私の性格はマイペースなのですが、看護師として働いていく中で、周りをみて時間を大切にし、確実に仕事ができる人になれるよう頑張っていきたいと思います。

B病棟3階　看護師　**中尾　理奈**

私は今年の春、念願の看護師になれました。ですので、まだまだ技術も知識も未熟者です。

しかし、そんな私でも患者様に親しみをもって頂ける様に、常に笑顔を心がけています。わからないことばかりですが、先輩方に教わりながら、1つ1つ自分のモノにできるよう努力していきます。

B病棟4階　**小楠　優奈**

就職して2か月が経ちました。知識も技術もまだまだですが先輩方の姿を見て毎日頑張っています。笑顔を忘れず患者さんやスタッフに信頼されるような看護師になれるよう頑張っていきます。よろしくお願いします。

栄養管理科　調理師　**井上　夏海**

4月から入社して約3ヶ月が経ちました。まだまだミスが多く、ご迷惑をおかけしていますが、少しでも早くなれることができるよう努力いたしますので、よろしくお願いします。

B病棟4階　**真崎　まり子**

B病棟4階に勤務している真崎まり子です。私は二児の母で、社会経験を経て心機一転「看護師」を目指しました。毎日必死でしたが、家族を始め周りの方々に支えられながら看護師になる事が出来ました。

これからは私が恩返しをする番なので感謝を忘れず、心ある看護を提供できるように日々自己研鑽していきます。

薬剤科　薬剤助手　**佐生　悠香**

4月より薬剤科に勤務してます、佐生です。

私の幼い頃の夢は看護師になり母と同じ職場で働くことでした。現在職種は違いますが、母と同じ職場で働けることに喜びを感じています。少しでも多くの事を身に着け役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

B病棟4階 准看護師　**丸上　香里**

B病棟4階准看護師の丸上香里です。学校に通いながら働かせてもらっています。佐世保に来たばかりで、少しずつ佐世保の言葉や環境にも慣れてきました。看護の仕事はまだまだできないことが多いので、先輩方のようになれるよう頑張ります。よろしくお願いします。

栄養管理科　調理師　**川上　真穂**

今年度から栄養管理科に入職しました川上真穂です。患者様への安全でおいしい食事が提供できるように今後も頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

訪問看護　事務員　**齋藤　紗和伽**

はじめまして。今年の4月1日から訪問看護ステーションに勤務しております、齋藤紗和伽と申します。私は、実習でも千住病院の医事課でお世話になり、昨年の11月から3月の末までアルバイトとして事務課でお世話になっていました。

訪問看護ステーションでの勤務は覚えることがたくさんで、大変ですが先輩方のサポートのおかげで仕事内容や、電話対応など少しずつですが身についてきました。これからも初心を忘れずに一生懸命頑張っていきたいと思いますのでご指導よろしくお願いします。

◆◇◆◇ 早期に発見しよう！　嚥下障害 ◇◆◇◆

下記内容は飲み込みの機能を測るものです。四角の中に当てはまる数字を記載してみましょう。

質問1 飲み込みの問題が原因で、体重が減少した。
0=問題なし
1=よくわからない
2=この3ヶ月で、0～1kg体重が減少した
3=この3ヶ月で、1～3kg体重が減少した
4=ひどく問題
□

質問2 飲み込みの問題が外食に行く際、障害になっている。
0=問題なし
1=めったにそうは思わなかった
2=ときどきそう思うことがあった
3=よくそう思った
4=ひどく問題
□

質問3 液体を飲み込む時に、余分な努力が必要だ
0=問題なし
1=めったにそうは感じない
2=ときどきそう感じることがある
3=よくそう感じる
4=ひどく問題
□

質問4 固形物を飲み込む時に、余分な努力は必要だ
0=問題なし
1=めったにそう感じない
2=ときどきそう感じることがある
3=よくそう感じる
4=ひどく問題
□

質問5 錠剤を飲み込む時に、余分な努力が必要だ
0=問題なし
1=めったにそうは感じない
2=ときどきそう感じることがある
3=よくそう感じる
4=ひどく問題
□

質問6 飲み込むことが苦痛だ
0=問題なし
1=めったにそうは感じない
2=ときどきそう感じることがある
3=よくそう感じる
4=ひどく問題
□

質問7 食べる喜びが飲み込みによって影響を受けている。
0=問題なし
1=めったにそうは感じない
2=ときどきそう感じることがある
3=よくそう感じる
4=ひどく問題
□

質問8 飲み込む時に食べ物が、のどに引っかかる
0=問題なし
1=めったにそうは感じない
2=ときどきそう感じることがある
3=よくそう感じる
4=ひどく問題
□

質問9 食べる時に咳が出る
0=問題なし
1=めったに出ない
2=ときどき出ることがある
3=よく出る
4=ひどく問題
□

質問10 飲み込むことはストレスが多い
0=問題なし
1=めったにそう感じない
2=ときどきそう感じることがある
3=よくそう感じる
4=ひどく問題
□

＊上記結果が**総合計3点以上**の場合老嚥＝健常者の老化を伴う嚥下機能低下もしくは嚥下障害が疑われます。
在宅でも簡易にできる検査ですのでぜひ行ってみてください。
“EAT−10を行い、気になられる場合は、かかりつけ医へご相談ください。

参考資料：EAT−10
文責：リハビリテーション科

糖尿病教室のお知らせ

日　時：令和元年8月3日　午後1時30分から
場　所：千住病院A病棟2階多目的室
内　容：・糖尿病の基礎および合併症について
　　・運動を始めよう!～始める時は足元にも気を付けて～
　　・災害発生!その時あなたならどうする?

糖尿病は患者様自身の積極的な取り組みが必要な生活習慣病です。
患者様、ご家族の皆様の他、興味がある方ならどなたでも歓迎です。
継続的な参加をすすめします。

千住病院 外来担当医師のご案内

診察時間 / 曜日	午　前 9:00～12:30 （受付8:30～12:00）	午　後 14:00～16:00 （専門外来のみ　予約制）
月	福田・卜部	谷岡（消化器）
火	東・緒方	籠手田（緩和ケア） 新患
水	谷岡・卜部	籠手田（緩和ケア） 再診
木	千住・田中	福田（脳神経内科） 西川（腎臓）
金	金沢・佐藤	籠手田（血液）
土	交代制	

訪問リハビリテーションのご案内

訪問リハビリテーションでは、通院が困難な方のご家庭へ、理学療法士、作業療法士等が直接お伺いし、歩行練習、食事動作、コミュニケーションなどの日常生活に直結した練習を実施します。

～開始までの流れ～
自宅でのリハビリを行いたい！
⇒ 担当のケアマネージャーに相談
⇒ 訪問リハビリ開始

対象者：介護保険利用者（要介護・要支援）
営業日：月曜日～金曜日（13:30～17:30）
休業日：土・日・祝祭日・盆休み（8/14～15）
　　年末年始（12/31、1/1～1/3）
サービス提供地域：佐世保市内（吉井・小佐々・宇久・江迎・鹿町を除く）

問合せ先：TEL0956（24）1010
千住病院　地域連携室

訪問看護・居宅介護支援のご案内

訪問看護では24時間の緊急連絡にも対応し、終末期の在宅ケアに力を注いでいます。また、作業療法士も1名常勤しており訪問リハビリを実施しております。ケアマネージャーが4名おり、介護保険全般に関すること等、ご家族も含めて相談に応じています。
お気軽にご相談にお越し下さい。

編　集　後　記

来年2020年は、東京オリンピックが日本における最大の話題になろうかとは思いますが、次世代通信システム5Gの実用化の方が、個人的には興味をそそられています。これまでの通信よりも、速度も容量も数倍～数十倍になるとの事で、家の中にある色んなモノとインターネットが繋がり、人々の生活がガラリと変わる!という人もいます。この先更に、どんな風に私たちの日常が変わっていくのか?それがとても楽しみです。

医療情報管理課　米倉 久美

■ 地域包括ケア病棟のお知らせ

地域包括ケア病棟とは、

①急性期医療を終了した後の患者様が在宅や施設へ退院するための医療管理・リハビリ・看護などを行う病棟

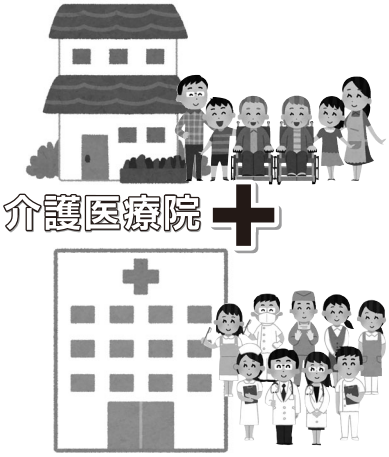
②在宅療養中の患者様に入院が必要になった時、在宅医からの依頼を受けて入院をお受けする病棟です。

また、在宅復帰支援計画に基づき医療チーム（医師・看護師・リハビリ担当者・MSW等）が退院へ向けての支援を行います。

当病棟での入院期間は基本60日が限度ですが、状態により調整いたします。

ご入院のご希望は地域医療連携室まで、お問い合わせをお願い致します。

■ 介護医療院とは？



住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう、医療・介護・予防・住まい、生活支援が確保される体制のなかでつくられました。

長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を対象に「生活施設」としての機能、「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」などの医療機能を兼ね備えた施設です。

2018年4月1日に開設され、2フロア合計75床あり、リハビリやお誕生会、ボランティアの方との交流会などレクレーションも開催しています。医師・看護師・介護職員、歯科医・歯科衛生士、管理栄養士、リハビリ訓練士、相談員などと連携しご利用者様とそのご家族様への支援を行っています。

雄　博　会　理　念

◎ 理　念

最新の医療とこころ温まる看護・介護を安全に提供できるよう絶えず努力します。

◎ 基本方針

(1) 患者様の人権を尊重し、誠意と責任をもって、患者様とご家族の立場に立った最善の医療・看護・介護を提供します。

(2) 医療連携を推進し、地域に信頼され、地域に貢献できる医療機関であることに努めます。

(3) 研修・教育を通して常に向上心を培い、質の高い最新の医療が実践できるように絶えず努力します。

(4) チーム医療をもって社会復帰や在宅を支援すると同時に、地域の健康増進のための医療サービスを提供します。

(5) 患者様の心身の痛みに対し、最善の緩和医療を提供し、患者様とご家族を支援します。

◎ 患者様の権利

(1) 患者様は、適切で質の良い医療を受ける権利を有します。

(2) 患者様は、ご自分の医療の内容について知る権利とわかりやすい言葉で説明を受ける権利を有します。

(3) 患者様は、人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します。

(4) 患者様は、ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します。

(5) 患者様は、ご自分の医療にかかる情報を入手できる権利を有します。

(6) 患者様は、ご自分の受ける医療について他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利を有します。

救急告示病院
日本医療機能評価認定病院
特定医療法人 雄博会
千住病院
SENJU
Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構

□病　院　□介護医療院
〒857-0026　佐世保市宮地町5−5
TEL 0956-24-1010　FAX 0956-24-8590
http://www.1010hosp.or.jp

□訪問看護ステーション　□指定居宅介護支援事業所
〒857-0026　佐世保市宮地町5−5
TEL 0956-23-9273　FAX 0956-23-9274

【広報委員会】

《委 員 長》村井　春樹
《副委員長》前田　康幸
《委　　員》千住　雅博・遠藤　洋子・米倉　久美・金沢　淑子
　　佐生　久子・内野　保則・甲斐　咲紀・原　　大
《印　　刷》（有）プリメックス